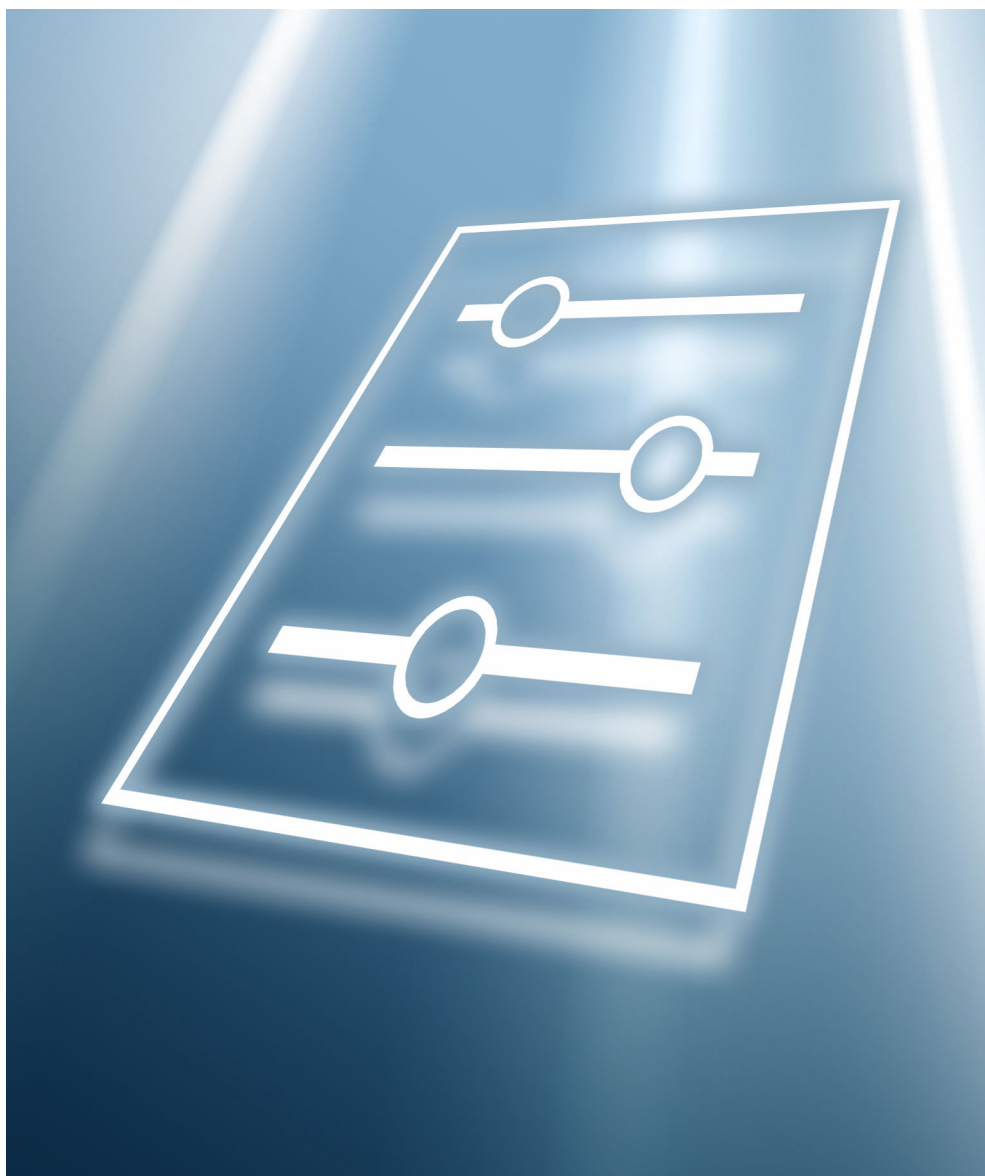


機能説明書

Cerabar PMP63B

プロセス圧力測定
HART



1 本説明書について

1.1 本書の目的

本書は取扱説明書の一部であり、パラメータの参照資料としてお使いください。

機器の機能に関してより詳細な知識が要求される作業：

- 困難な条件下での測定の開始
- 困難な条件に最適な測定の調整
- 通信インタフェースの詳細設定
- 困難な事例でのエラー診断

1.2 対象グループ

本資料は、全ライフサイクルにわたって本機器を使用し、特定の設定を行うスペシャリストのために用意されたものです。

1.3 資料の構成

本資料は、全般パートと個別パートで構成されています。

資料とその構成要素の構造については、全般パート（セクション 1）で説明します。

個別パートは機器の操作メニューの概要から始まり、本資料の主要部分になります。

操作メニューの概要に続き、機器パラメータの説明があります。説明は、4つのメインメニューとそのサブメニューに分かれています。

4つのメインメニュー：


- ガイダンス
- 診断
- アプリケーション
- システム

「機器パラメータの説明」セクションでは、メニュー、サブメニューおよびパラメータは、**操作ツール**のメニュー構造と同じレイアウトで表示されています。

操作ツールは、FieldCareなどのソフトウェアであり、機器に保存されているデータとパラメータをPCやノートパソコンに表示および編集するために使用できます。現場表示器による操作と比較して、操作ツールではより多くのオプションを利用できます。グラフィックやヘルプテキストなど、パラメータのプロパティを説明する追加情報を提供します。

ユーザーに表示されるサブメニューは、ユーザーがログインに使用した**ユーザーの役割**（→ 77）に応じて異なります。本資料には、ユーザーの役割**メンテナンス**で利用できるサブメニューとそのパラメータが記載されています。

操作メニューは動的であり、選んだ選択項目に応じてパラメータの選択肢が適合されません。

 操作オプションの詳細については、取扱説明書を参照してください。

1.4 パラメータの説明に含まれる要素

パラメータの説明は構造化されており、複数の要素で構成されています。パラメータに応じて、記載される要素の数は異なります。以下に、各種パラメータのうち2つのパラメータの例を示します。

1	Simulation	
2	Navigation	Diagnostics → Simulation → Simulation
3	Prerequisite	Options marked with *: The corresponding device function must be available and configured.
4	Description	Simulates one or more process variables and/or events. Warning: - Output will reflect the simulated value or event.
5	Selection	<ul style="list-style-type: none"> ■ Off ■ Distance ■ Level ■ Level linearized * ■ Current output ■ Diagnostic event simulation ■ Foam index * ■ Build-up index *
6	Factory setting	Off

- 1 名称：パラメータの名称 (Label)
- 2 ナビゲーション：パラメータへのナビゲーションパス。シンボルは、パスが現場表示器、操作ツール、またはその両方に適用されるかどうかを示しています。
- 3 必須条件：マーク付きの選択項目は、それぞれの場合に規定される条件下においてのみ選択可能であることを示します。
- 4 説明：パラメータ機能の説明
- 5 選択項目：パラメータの個々の選択項目の一覧
- 6 工場設定：工場出荷時の初期設定
- 7 鍵のマークは、そのパラメータが書き込み保護されていることを示します。

1	Timestamp	
2	Navigation	Diagnostics → Active diagnos. → Timestamp
3	Description	Displays the timestamp for the currently active diagnostic message.
4	User interface	Days (d), hours (h), minutes (m), seconds (s)
5	Factory setting	
6	Additional information	Access: <ul style="list-style-type: none"> ■ Read access: Operator ■ Write access: -

- 1 名称：パラメータの名称 (Label)
- 2 ナビゲーション：パラメータへのナビゲーションパス。シンボルは、パスが現場表示器、操作ツール、またはその両方に適用されるかどうかを示しています。
- 3 説明：パラメータ機能の説明
- 4 ユーザーインターフェース：パラメータの表示値/データ
- 5 工場設定：工場出荷時の初期設定
- 6 追加情報：読み取り/書き込みアクセス：特定の役割を持つユーザーが、パラメータに対して与えられるアクセス権に関する情報

パラメータの説明の最後にある追加情報は、パラメータの説明のすべての要素に関連するものであり、それらをさらに詳しく説明します。

1.5 シンボル

1.5.1 安全シンボル



危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。

警告

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。






注意

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度のけがを負う恐れがあります。


注記

潜在的に有害な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品や周囲のものを破損する恐れがあります。

1.5.2 特定情報に関するシンボル

-  追加情報を示します。
-  資料を参照
-  現場表示器による操作
-  操作ツールによる操作
-  書き込み保護パラメータ

1.6 関連資料

-  関連技術資料の範囲の概要に関しては、以下を参照ください。
 - デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) : 銘板のシリアル番号を入力します。
 - Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。
- 関連資料はインターネットから入手できます : www.endress.com → ダウンロード

2 操作メニューの概要

ナビゲーション  操作ツール

ガイダンス	→ 16
▶ 設定	→ 16
▶ Heartbeat Technology	→ 17
▶ Heartbeat Verification	→ 18
▶ SSD: 統計センサ診断	→ 18
▶ ループ診断	→ 18
▶ プロセス ウィンドウ	→ 18
▶ 安全モード	→ 18
▶ ブルーテスト	→ 19
▶ インポート / エクスポート	→ 19
▶ 比較	→ 19
診断	→ 20
▶ 現在の診断メッセージ	→ 20
現在の診断メッセージ	→ 20
タイムスタンプ	→ 20
前回の診断結果	→ 20
タイムスタンプ	→ 21
再起動からの稼働時間	→ 21
稼働時間	→ 21
▶ イベントログブック	→ 22
フィルタオプション	→ 22
▶ 最小値/最大値	→ 23
圧力 min	→ 23

圧力 max	→ 23
センサ Pmin 超過カウンタ	→ 23
センサ Pmax 超過カウンタ	→ 24
ユーザ定義 Pmin 超過カウンタ	→ 24
ユーザ定義 Pmax 超過カウンタ	→ 24
最小センサ温度	→ 25
最大センサ温度	→ 25
Tmin リミット超過カウンタ	→ 25
Tmax リミット超過カウンタ	→ 25
ユーザ定義 Tmin リミット超過カウンタ	→ 26
ユーザ定義 Tmax リミット超過カウンタ	→ 26
最小端子電圧	→ 26
最大端子電圧	→ 26
電子部内最低温度	→ 27
電子部内最高温度	→ 27
ユーザ定義カウンタ P/T をリセット	→ 27
▶ シミュレーション	→ 27
シミュレーション	→ 27
圧力シミュレーション値	→ 28
診断イベントのシミュレーション	→ 28
▶ Heartbeat Technology	→ 28
▶ Heartbeat Verification	→ 28
稼働時間 (検証)	→ 28

検証結果	→ 29
ステータス	→ 29
▶ ループ診断	→ 29
ベースライン再構築	→ 29
許容偏差 +/-	→ 30
ベースライン ステータス	→ 30
ループ診断	→ 30
端子電圧 1	→ 31
クランプ電圧 下限閾値	→ 31
クランプ電圧 上限閾値	→ 31
806 イベント遅延	→ 31
▶ 統計センサ診断	→ 32
SSD: 統計センサ診断	→ 32
システム ステータス	→ 32
信号ステータス	→ 32
信号ノイズ ステータス	→ 33
▶ 診断設定	→ 33
▶ プロパティ	→ 33
SSD 遅延時間範囲外	→ 33
SSD 遅延時間モニタリング	→ 34
500 プロセス警告圧力	→ 34
低アラート値	→ 34
高アラート値	→ 34
501 プロセス警告 スケーリング変数	→ 35
低アラート値	→ 35

高アラート値	→ 35
ユーザ定義 温度プロセス アラート	→ 35
低アラート値	→ 36
高アラート値	→ 36
806 診断動作	→ 36
806 イベントカテゴリ	→ 36
806 イベント遅延	→ 37
▶ 設定	→ 37
▶ 設定	→ 37
500 診断動作	→ 37
500 イベントカテゴリ	→ 38
501 診断動作	→ 38
501 イベントカテゴリ	→ 38
502 診断動作	→ 39
502 イベントカテゴリ	→ 39
▶ プロセス	→ 39
806 診断動作	→ 39
806 イベントカテゴリ	→ 40
822 診断動作	→ 40
822 イベントカテゴリ	→ 40
センサ圧カレンジ動作	→ 41
841 イベントカテゴリ	→ 41
900 イベントカテゴリ	→ 42
900 診断動作	→ 41

	906 診断動作	→ 42
	906 イベントカテゴリ	→ 42
アプリケーション		→ 43
▶ 測定単位		→ 45
	圧力単位	→ 45
	圧力小数点位置	→ 45
	温度の単位	→ 46
	スケーリングされた変数単位	→ 46
	フリーテキスト	→ 47
	小数点以下のスケール変数	→ 48
▶ 測定値		→ 43
	圧力	→ 43
	スケーリングされた変数	→ 43
	センサ温度	→ 43
	端子電圧 1	→ 44
	端子電流	→ 44
	電気部内温度	→ 44
▶ センサ		→ 48
	▶ 基本設定	→ 50
		出力電流 転送機能 → 50
		ダンピング → 51
	▶ センサー校正	→ 48
		ゼロ点調整 → 48
		校正オフセット → 48
		ゼロ点調整オフセット → 49

センサトリムリセット	→ 59
下限センサトリム	→ 49
上限センサトリム	→ 50
▶ センサリミット	→ 51
LRL(下限)	→ 51
URL(上限)	→ 51
最小スパン	→ 52
センサ温度下限リミット	→ 52
センサ温度上限リミット	→ 52
▶ スケーリングされた変数	→ 52
PV 割当	→ 52
スケーリングされた変数単位	→ 53
フリーテキスト	→ 54
圧力	→ 54
スケーリングされた変数転送機能	→ 54
下限値出力	→ 54
上限値出力	→ 55
圧力値 1	→ 55
スケーリングされた変数 1	→ 55
圧力値 2	→ 55
スケーリングされた変数 2	→ 56
▶ ウェットキャリブレーション	→ 56
ゼロ	→ 56
圧力値 1	→ 56
スパン	→ 56

圧力値 2	→ 57
ゼロ	→ 56
下限値出力	→ 57
スパン	→ 56
上限値出力	→ 57
▶ 電流出力	→ 58
PV 割当	→ 58
測定モード電流出力	→ 58
出力の現在の範囲	→ 58
下限値出力	→ 59
上限値出力	→ 59
電流出力 故障動作	→ 59
故障時の電流値	→ 60
出力電流	→ 60
端子電流	→ 60
▶ HART 出力	→ 61
▶ 設定	→ 61
HART アドレス	→ 61
HART ショートタグ	→ 62
デバイスのタグ	→ 62
プリアンプル数	→ 62
ループ電流モード	→ 62
▶ HART 出力	→ 63
PV 割当	→ 63
プライマリ変数 (PV)	→ 63

SV 割当	→ 63
セカンダリ変数 (SV 値)	→ 64
TV 割当	→ 64
ターシェリ変数 (TV 値)	→ 65
QV 割当	→ 65
クォータリ変数 (QV)	→ 65
▶ バースト設定 1	→ 66
バーストモード 1	→ 66
バーストコマンド 1	→ 66
バースト変数 0	→ 66
バースト変数 1	→ 67
バースト変数 2	→ 67
バースト変数 3	→ 68
バースト変数 4	→ 69
バースト変数 5	→ 69
バースト変数 6	→ 70
バースト変数 7	→ 70
バーストトリガーモード	→ 71
バーストトリガーレベル	→ 71
Min. update period	→ 71
Max. update period	→ 72
▶ 情報	→ 72
機器 ID	→ 72
機器タイプ	→ 72
機器リビジョン	→ 72

	HART ショートタグ	→ 73
	HART リビジョン	→ 73
	HART 記述子	→ 73
	HART メッセージ	→ 74
	HART 日付コード	→ 74
システム		→ 75
▶ 機器管理		→ 75
	デバイスのタグ	→ 75
	ロック状態	→ 75
	設定カウンタ	→ 76
	機器リセット	→ 76
▶ ユーザー管理		→ 77
	▶ ユーザー管理	→ 77
	ユーザーの役割	→ 77
	Delete password	→ 77
	Forgot password?	→ 77
	▶ パスワードを入力してください	→ 78
	パスワード	→ 78
	アクセスコード入力	→ 78
	ステータスパスワード入力	→ 78
	▶ パスワードを設定してください	→ 79
	新しいパスワード	→ 79
	新しいパスワードを確認	→ 79
	ステータスパスワード入力	→ 79
	▶ パスワードを変更	→ 80

古いパスワード	→ 80
新しいパスワード	→ 80
新しいパスワードを確認	→ 80
ステータスパスワード入力	→ 80
▶ パスワードを回復	→ 81
パスワードリセット	→ 81
ステータスパスワード入力	→ 81
▶ Bluetooth 設定	→ 82
Bluetooth 有効化	→ 82
▶ 表示	→ 82
Language	→ 82
表示形式	→ 83
1 の値表示	→ 83
2 ... 4 の値表示	→ 83
表示のコントラスト	→ 84
▶ 情報	→ 84
機器名	→ 84
製造者	→ 84
シリアル番号	→ 85
オーダーコード	→ 85
ファームウェアのバージョン	→ 85
ハードウェアのバージョン	→ 85

拡張オーダーコード 1 ... 3	→ 86
チェックサム	→ 86
▶ ソフトウェア設定	→ 91
CRC デバイス設定	→ 91
保存された CRC デバイス設定	→ 91
タイムスタンプは CRC デバイス設定 に保存されました	→ 91
SW オプションの有効化	→ 91
有効なソフトウェアオプションの概 要	→ 92

3 機器パラメータの説明

3.1 ガイダンス

ガイダンス メニューでは、設定などの基本的な作業を迅速に実行できます。これらは主に、ガイド付きウィザードや横断的な特殊機能で構成されています。

ナビゲーション  ガイダンス

3.1.1 概要

ガイダンス メニューには、以下のサブメニューとウィザードが含まれます。

- 設定
- Heartbeat Technology
 - Heartbeat Verification
 - SSD: 統計センサ診断
 - プロセス ウィンドウ
- 安全モード
- プルーフテスト
- インポート/エクスポート
- 比較

設定

設定 ウィザードを実行すると、機器を設定できます。各パラメータに適切な値を入力するか、または適切な項目を選択します。

警告

必要なパラメータがすべて設定される前にウィザードを中止した場合、すでに設定された内容はすべて保存されます。

機器が未設定の状態になることがあります。

- ▶ 機器を工場設定にリセットします。

ナビゲーション  ガイダンス → 設定

「設定」ウィザードに関するパラメータ


このウィザードでは、以下のパラメータが設定または表示されます。


- **機器固有情報**
 - デバイスのタグ
 - 機器名
 - シリアル番号
 - 拡張オーダーコード 1 ... 3
 - ロック状態
 - HART ショートタグ
 - HART 日付コード
 - HART 記述子
 - HART メッセージ
 - HART アドレス
- **測定の調整**
 - PV 割当
 - ダンピング
 - 圧力単位
 - 温度の単位
 - スケーリングされた変数単位
 - ゼロ点調整
 - 圧力
- **出力設定**
 - 出力電流 転送機能
 - スケーリングされた変数転送機能
 - LRL(下限)
 - URL(上限)
 - 最小スパン
 - リニアライゼーション
 - 下限値出力
 - 上限値出力
 - 圧力値 1/2
 - スケーリングされた変数 1/2
 - 出力の現在の範囲
 - 電流出力 故障動作
 - 故障時の電流値
 - ループ電流モード
 - HART 変数の割り当てを行いますか？
 - PV 割当
 - SV 割当
 - TV 割当
 - QV 割当

Heartbeat Technology

Heartbeat Technology は以下の機能を提供します。


- 連続自己監視による診断
- 外部の状態監視システムへの追加の測定変数出力
- アプリケーション内での計測機器の即時検証

 Heartbeat Technology に関する個別説明書はインターネットから入手できます (www.endress.com → ダウンロード)。

ナビゲーション  ガイダンス → Heartbeat Techn.


Heartbeat Verification

このウィザードは機器機能の自動検証を開始するために使用されます。

ナビゲーション  ガイダンス → Heartbeat Techn. → Heartbeat Verif.

SSD: 統計センサ診断

圧力信号の統計分析を用いて、導圧管の詰まりなどのプロセス異常を検出できます。このウィザードは、診断メッセージにつながる設定と閾値をサポートしています。

ナビゲーション  ガイダンス → Heartbeat Techn. → SSD: 統計センサ診断

ループ診断

このウィザードで、電流-電圧ループ特性（ベースライン）の変化を参照することで、端子の腐食によるクリープ電流などの望まない設置異常や電源装置の劣化による誤った 4-20 mA 測定値を検出できる場合があります。


ナビゲーション  ガイダンス → Heartbeat Techn. → ループ診断

プロセスウィンドウ

このウィザードは、ユーザー定義の圧力と温度リミットを用いて、望まれないインストールまたはアプリケーション異常を検出します。

アプリケーション:

- ヒートトレーサーまたは断熱材の欠陥
- 凍結したプロセス接続
- 動圧ピークなど

ナビゲーション  ガイダンス → Heartbeat Techn. → プロセスウィンドウ

安全モード

書き込み保護により、機器設定の上書きが防止されます。さらに、安全アプリケーションの場合は、安全関連の機器設定を確認することを推奨します。これにより、正しい値の入力と機器へのダウンロードが保証されます。

この入力、手動チェックリストの代わりに確認シーケンスとして使用できます。安全関連の機器設定が確認された後、機器は「安全ロック」プロパティでマークされません。これは、安全関連のパラメータ設定が確認され、正しいと評価されたことを示します。

安全ロックを解除するには、シーケンスを再始動する必要があります。安全ロック解除コード (= 安全ロックコード) が入力されると、安全ロックは無効になります。

ナビゲーション  ガイダンス → 安全モード

ブルーフテスト

ブルーフテストは現在の出力をシミュレーションします。
安全機能はブルーフテスト中は保証されません。プロセスの安全を確保するためにマニュアル運転に切り替える必要があります。

注意：機器がアラームを発生していないときのみ、ブルーフテストを実行可能です。

ナビゲーション   ガイダンス → プルーフテスト

インポート / エクスポート

Save / Restore

- 機器設定は、.deh ファイルに保存できます。
- .deh ファイルに保存された機器設定を、機器に書き込むことができます。

Create configuration report

Create configuration report で、機器のドキュメントを PDF 形式で保存できます。この機器のドキュメントには、以下の一般的な機器情報が記載されています。

- 機器パラメータに関する情報
- イベントリスト
- 診断リスト

ナビゲーション  ガイダンス → インポート / エクスポート

比較

データセットの比較

この機能は、以下のデータセットを比較するために使用できます。

- インポート / エクスポート機能から作成された .deh ファイル形式のデータレコード
- 現在機器内に設定されているデータセット

ナビゲーション  ガイダンス → 比較

3.2 診断


ナビゲーション  診断

3.2.1 現在の診断メッセージ

ナビゲーション  診断 → 現在の診断メッセージ

現在の診断メッセージ

ナビゲーション

 診断 → 現在の診断メッセージ → 現在の診断メッセージ

説明

現在の診断メッセージを表示します。
もし同時に複数の診断イベントが発生した場合、優先順位の高い診断イベントが表示されます。

ユーザーインターフェイス

- イベントが発生するまでの機器の稼働時間
- 診断動作のシンボル
- 診断動作のコード
- イベントテキスト
- 対策

タイムスタンプ

ナビゲーション

 診断 → 現在の診断メッセージ → タイムスタンプ

説明


現在有効な診断メッセージのタイムスタンプを表示します。

ユーザーインターフェイス

日 (d)、時間 (h)、分 (m)、秒 (s)

前回の診断結果

ナビゲーション

 診断 → 現在の診断メッセージ → 前回の診断結果

説明

終了した前回の診断イベントの診断メッセージを表示します。

ユーザーインターフェイス

- イベントが発生するまでの機器の稼働時間
- 診断動作のシンボル
- 診断動作のコード
- イベントテキスト
- 対策

タイムスタンプ

ナビゲーション	☰☰ 診断 → 現在の診断メッセージ → タイムスタンプ
説明	終了した前回の診断イベントで生成された診断メッセージのタイムスタンプを表示します。
ユーザーインターフェイス	日 (d)、時間 (h)、分 (m)、秒 (s)

再起動からの稼働時間

ナビゲーション	☰☰ 診断 → 現在の診断メッセージ → 再起動からの稼働時間
説明	前回の機器の再起動からの稼働時間を示します。
ユーザーインターフェイス	日 (d)、時間 (h)、分 (m)、秒 (s)

稼働時間

ナビゲーション	☰☰ 診断 → 現在の診断メッセージ → 稼働時間
説明	機器の稼働時間を示します。
ユーザーインターフェイス	日 (d)、時間 (h)、分 (m)、秒 (s)



3.2.2 診断リスト

ナビゲーション  診断 → 診断リスト

3.2.3 イベントログブック


ナビゲーション  診断 → イベントログブック

フィルタオプション

ナビゲーション	 診断 → イベントログブック → フィルタオプション
説明	この機能を使用して、操作ツールのイベントリストにイベントメッセージを表示させるカテゴリを選択します。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべて ■ 故障 (F) ■ 機能チェック (C) ■ 仕様範囲外 (S) ■ メンテナンスが必要 (M) ■ 情報 (I) ■ 分類されない
工場出荷時設定	すべて
追加情報	<p>説明</p> <p> ステータス信号は VDI/VDE 2650 および NAMUR 推奨 NE 107 に準拠して分類されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ F = 故障 ■ C = 機能チェック ■ S = 仕様範囲外 ■ M = 要メンテナンス

イベントリストを消去



ナビゲーション	 診断 → イベントログブック → イベントリストを消去
説明	イベントリストの全ての記録を削除。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ キャンセル ■ データ削除
工場出荷時設定	キャンセル

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : エキスパート

3.2.4 最小値/最大値

ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値

圧力 min

ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → 圧力 min

説明 機器で測定された最小値

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 正の浮動小数点数

圧力 max



ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → 圧力 max

説明 機器で測定された最大値

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 負の浮動小数点数

センサ Pmin 超過カウンタ


ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → センサ Pmin 超過カウンタ

説明 センサ固有の最小値を何回下回ったかをカウントします。
センサー固有の最小値は、「アプリケーション/センサ」メニューに表示されます。

ユーザーインターフェイス 0~65 535

工場出荷時設定 0

センサ Pmax 超過カウンタ


ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → センサ Pmax 超過カウンタ

説明 センサー固有の最大値を何回超過したかをカウントします。
センサー固有の最大値は、「アプリケーション/センサ」メニューに表示されます。

ユーザーインターフェイス 0~65535

工場出荷時設定 0

ユーザ定義 Pmin 超過カウンタ

ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → ユーザ定義 Pmin 超過数


説明 値がユーザー定義の最小値を何回下回ったかをカウントします。
ユーザー定義の最小値は、「診断/診断設定/プロパティ」メニューに表示されます。

ユーザーインターフェイス 0~65535

工場出荷時設定 0

追加情報 プロセス ウィンドウで Heartbeat Monitoring が有効になっている場合にのみ表示されます。

ユーザ定義 Pmax 超過カウンタ

ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → ユーザ定義 Pmax 超過数

説明 ユーザーが定義した最大値から何回超過したかをカウントします。
ユーザー定義の最大値は、「診断/診断設定/プロパティ」メニューに表示されます。

ユーザーインターフェイス 0~65535

工場出荷時設定 0

追加情報 プロセス ウィンドウで Heartbeat Monitoring が有効になっている場合にのみ表示されます。

最小センサ温度

ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → 最小センサ温度


説明 機器で測定された最小値
ユーザーはこの値をリセットできません。



最大センサ温度

ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → 最大センサ温度

説明 機器で測定された最大値
ユーザーはこの値をリセットできません。

Tmin リミット超過カウンタ


ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → Tmin リミット超過カウンタ



説明 値がセンサ固有の最小値を下回った頻度をカウントします。センサ固有の最小値はアプリケーション (→  43)/センサ (→  48)メニューに表示されます。

ユーザーインターフェイス 0~65 535

工場出荷時設定 0

Tmax リミット超過カウンタ


ナビゲーション  診断 → 最小値/最大値 → Tmax リミット超過カウンタ

説明 値がセンサ固有の最大値を超えた頻度をカウントします。センサ固有の最大値はアプリケーション (→  43)/センサ (→  48)メニューに表示されます。


ユーザーインターフェイス 0~65 535

工場出荷時設定 0


ユーザ定義 Tmin リミット超過カウンタ

ナビゲーション	 診断 → 最小値/最大値 → カウンタ < T user
ユーザーインターフェイス	0~65535
工場出荷時設定	0
追加情報	プロセス ウィンドウで Heartbeat Monitoring が有効になっている場合にのみ表示されます。


ユーザ定義 Tmax リミット超過カウンタ

ナビゲーション	 診断 → 最小値/最大値 → カウンタ > T user
ユーザーインターフェイス	0~65535
工場出荷時設定	0
追加情報	プロセス ウィンドウで Heartbeat Monitoring が有効になっている場合にのみ表示されます。



最小端子電圧

ナビゲーション	 診断 → 最小値/最大値 → 最小端子電圧
説明	測定された最小端子電圧 (電源)。
ユーザーインターフェイス	0.0~50.0 V

最大端子電圧

ナビゲーション	 診断 → 最小値/最大値 → 最大端子電圧
説明	測定された最大端子電圧 (電源)。
ユーザーインターフェイス	0.0~50.0 V

電子部内最低温度

ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → 電子部内最低温度

説明 測定されたメイン電子モジュールの最低温度

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

電子部内最高温度



ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → 電子部内最高温度

説明 測定されたメイン電子モジュールの最高温度

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

ユーザ定義カウンタ P/T をリセット



ナビゲーション   診断 → 最小値/最大値 → カウンタ P/T をリセット



選択

- キャンセル
- 確認

工場出荷時設定 キャンセル



追加情報 プロセス ウィンドウで Heartbeat Monitoring が有効になっている場合にのみ表示されます。

3.2.5 シミュレーション

ナビゲーション   診断 → シミュレーション

シミュレーション





ナビゲーション   診断 → シミュレーション → シミュレーション

説明 1 つまたは複数のプロセス変数やイベントをシミュレートします。
警告
シミュレートされた値またはイベントが出力されます。

- 選択
- オフ
 - 電流出力
 - 診断イベントのシミュレーション
 - 圧力

工場出荷時設定 オフ

診断イベントのシミュレーション

ナビゲーション   診断 → シミュレーション → 診断シミュレーション

説明 シミュレーションする診断イベントを選択
 注意:
 シミュレーションを止めるには、"オフ"を選択します。

- 選択
- オフ
 - 診断イベントのドロップダウンリスト

工場出荷時設定 オフ

圧力シミュレーション値

ナビゲーション   診断 → シミュレーション → 圧力値

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0 mbar

3.2.6 Heartbeat Technology

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn.

Heartbeat Verification

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → Heartbeat Verif.

稼働時間（検証）

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → Heartbeat Verif. → 稼働時間（検証）

説明 検証の時点での稼働時間カウンタの値。

ユーザーインターフェイス 日 (d)、時間 (h)、分 (m)、秒 (s)

検証結果

ナビゲーション  診断 → Heartbeat Techn. → Heartbeat Verif. → 検証結果

説明 Heartbeat Verification の結果。

ユーザーインターフェイス

- 未完了
- 合格
- 未完了
- 不合格

工場出荷時設定 未完了

ステータス

ナビゲーション  診断 → Heartbeat Techn. → Heartbeat Verif. → ステータス


説明 現在のステータスを表示します。

ユーザーインターフェイス

- 完了
- 進行中
- 不合格
- 未完了

工場出荷時設定 未完了

ループ診断

ナビゲーション  診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断

ベースライン再構築

ナビゲーション  診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → ベースライン再構築

説明 Notice
現在の出力がシミュレーションされます。
PLC をブリッジするか、他の適切な対策を講じて、アラームメッセージの誤ったトリガーまたは制御ループの動作の変化を防止します。
ループ内で計画的な変更が行われた場合、ベースラインを再構築する必要があります。

- 選択
- いいえ
 - はい

工場出荷時設定 いいえ

許容偏差 +/-

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → 許容偏差 +/-

説明 通常の電圧偏差によって不要なメッセージが生じないように、値を選択する必要があります。

デフォルト
1.5 V DC

ユーザー入力 0.5～3.0 V

ベースライン ステータス

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → ベースライン ステータス

説明 "エラー"
ベースラインが利用不可、または作成不可
"成功"
ベースラインが利用可能

ユーザーインターフェイス ■ エラー
■ 成功

工場出荷時設定 エラー

ループ診断

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → ループ診断

説明 ループ診断を有効/無効にします。


注意：
この機能が無効になっている場合、分析は行われず、イベントメッセージも表示されません。

選択 ■ 無効
■ 有効

工場出荷時設定 無効

追加情報 ベースラインが作成されている場合、パラメータが表示されます。

端子電圧 1

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → 端子電圧 1

説明 電流出力端子にかかっている現在の電圧を示します。

ユーザーインターフェイス 0.0~50.0 V

クランプ電圧 下限閾値

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → クランプ電圧 下限閾値

ユーザーインターフェイス 0.0~50.0 V

クランプ電圧 上限閾値

ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → クランプ電圧 上限閾値

ユーザーインターフェイス 0.0~50.0 V

806 イベント遅延



ナビゲーション   診断 → Heartbeat Techn. → ループ診断 → 806 イベント遅延

説明 イベントメッセージが出力されるまでに必要となるトリガーステータスの継続時間を表示します。
短期的な信号干渉を除外するために使用します。



ユーザー入力 0~60 秒

工場出荷時設定 1 秒

統計センサ診断

ナビゲーション  診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断SSD: 統計センサ診断 

ナビゲーション

  診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断 → SSD: 統計センサ診断

説明

SSD を有効または無効にします。

「Disable(無効)」を選択すると、統計センサ診断は行われません。診断メッセージは出力されません。

選択


- 無効
- 有効

工場出荷時設定

無効

システムステータス

ナビゲーション

  診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断 → システムステータス

ユーザーインターフェイス



- アイドリング
- 十分な信号ノイズなし
- 安定
- 不安定
- システムダイナミクスの確認
- Process dynamic too high

工場出荷時設定

アイドリング

信号ステータス

ナビゲーション

  診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断 → 信号ステータス

ユーザーインターフェイス

- アイドリング
- ベースライン構築
- ベースライン確認
- ベースライン確認に失敗
- モニタリング
- 範囲外
- モニタリング無効

工場出荷時設定

アイドリング

信号ノイズ ステータス

ナビゲーション	☰☰ 診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断 → 信号ノイズ ステータス
ユーザーインターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイドリング ■ ベースライン構築 ■ ベースライン 確認 ■ ベースライン 確認に失敗 ■ モニタリング ■ 範囲外 ■ モニタリング 無効
工場出荷時設定	アイドリング

ベースライン作成 SSD カウンタ

ナビゲーション	☰☰ 診断 → Heartbeat Techn. → 統計センサ診断 → ベースライン作成 SSD 数
説明	ベースラインが再構築された頻度を示します。
ユーザーインターフェイス	正の整数
工場出荷時設定	0
追加情報	アクセス : <ul style="list-style-type: none"> ■ 読み取りアクセス : エキスパート ■ 書き込みアクセス : -

3.2.7 診断設定

ナビゲーション ☰☰ 診断 → 診断設定

プロパティ

ナビゲーション ☰☰ 診断 → 診断設定 → プロパティ

SSD 遅延時間範囲外

ナビゲーション	☰☰ 診断 → 診断設定 → プロパティ → SSD 遅延時間範囲外
ユーザー入力	0~604800 秒

工場出荷時設定 600 秒

SSD 遅延時間モニタリング



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → プロパティ → SSD 遅延時間監視

ユーザー入力 0~86400 秒

工場出荷時設定 60 秒

500 プロセス警告圧力



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → プロパティ → 500 プロセス警告圧力

説明 ユーザ定義の圧力リミットを設定するかを定義します。
「オフ」を選択した場合、解析を実施されず、イベントメッセージは生成されません。

選択 オフ
 オン

工場出荷時設定 オフ

低アラート値



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → プロパティ → 低アラート値

説明 範囲を設定
これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0 mbar

高アラート値



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → プロパティ → 高アラート値

説明 範囲を設定
これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 500 mbar

501 プロセス警告 スケーリング変数



ナビゲーション	診断 → 診断設定 → プロパティ → 501 警告 SV
説明	ユーザー定義のリミット値を設定するかどうかを定義します。 "オフ"を選択した場合、解析は行われず、イベントメッセージも生成されません。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフ ■ オン
工場出荷時設定	オフ

低アラート値



ナビゲーション	診断 → 診断設定 → プロパティ → 低アラート値
説明	範囲を設定 これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 %

高アラート値



ナビゲーション	診断 → 診断設定 → プロパティ → 高アラート値
説明	範囲を設定 これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	100 %

ユーザ定義 温度プロセス アラート



ナビゲーション	診断 → 診断設定 → プロパティ → ユーザ定義 温度アラート
説明	ユーザ定義のセンサ温度リミットを設定するかを設定します。"オフ"の場合、解析は行われず、イベントメッセージは表示されません。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフ ■ オン
工場出荷時設定	オフ

低アラート値



ナビゲーション

診断 → 診断設定 → プロパティ → 低アラート値

説明

範囲を設定
これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。

ユーザー入力

-50～150 °C

工場出荷時設定

-35 °C

高アラート値



ナビゲーション

診断 → 診断設定 → プロパティ → 高アラート値

説明

範囲を設定
これらのリミット値を超過すると、イベントが生成されます。

ユーザー入力

-50～150 °C

工場出荷時設定

85 °C

806 診断動作



ナビゲーション

診断 → 診断設定 → プロパティ → 806 診断動作

説明

イベントの動作を選択
「ログブック記入のみ」:
メッセージのデジタルまたはデジタル送信なし
「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定

警告

806 イベントカテゴリ



ナビゲーション

診断 → 診断設定 → プロパティ → 806 イベントカテゴリ

説明

診断メッセージのカテゴリを選択します。

選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ 故障 (F) ■ 機能チェック (C) ■ 仕様外 (S) ■ メンテナンスが必要 (M) ■ 影響なし (N)
工場出荷時設定	メンテナンスが必要 (M)

806 イベント遅延 🔒

ナビゲーション	🔍 診断 → 診断設定 → プロパティ → 806 イベント遅延
説明	イベントメッセージが出力されるまでに必要となるトリガーステータスの継続時間を表示します。 短期的な信号干渉を除外するために使用します。
ユーザー入力	0～60 秒
工場出荷時設定	1 秒

設定

ナビゲーション 🔍🔍 診断 → 診断設定 → 設定

設定

ナビゲーション 🔍🔍 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定

500 診断動作 🔒

ナビゲーション	🔍🔍 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 500 診断動作
説明	イベントの動作を選択 「ログブック記録のみ」: メッセージのデジタルまたはアナログ送信なし 「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフ ■ アラーム ■ 警告 ■ ログブック入力のみ
工場出荷時設定	オフ

500 イベントカテゴリ



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 500 イベントカテゴリ

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 仕様外 (S)

501 診断動作



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 501 診断動作

説明

イベントの動作を選択

「ログブック記録のみ」:
メッセージのデジタルまたはアナログ送信なし

「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- オフ
- アラーム
- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定 オフ

501 イベントカテゴリ



ナビゲーション 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 501 イベントカテゴリ

選択


- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 仕様外 (S)

502 診断動作



ナビゲーション

 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 502 診断動作

説明

イベントの動作を選択

「ログブック記録のみ」:

メッセージのデジタルまたはアナログ送信なし

「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- オフ
- アラーム
- 警告
- ログブック入力のみ


工場出荷時設定

オフ

502 イベントカテゴリ



ナビゲーション

 診断 → 診断設定 → 設定 → 設定 → 502 イベントカテゴリ


選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定

仕様外 (S)


プロセス

ナビゲーション  診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス

806 診断動作



ナビゲーション

 診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 806 診断動作

説明

イベントの動作を選択

「ログブック記入のみ」:

メッセージのデジタルまたはデジタル送信なし

「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定 警告

806 イベントカテゴリ

ナビゲーション   診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 806 イベントカテゴリ

説明 診断メッセージのカテゴリを選択します。

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 メンテナンスが必要 (M)

822 診断動作

ナビゲーション  診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 822 診断動作

ユーザーインターフェイス

- アラーム
- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定 警告

822 イベントカテゴリ

ナビゲーション  診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 822 イベントカテゴリ

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 仕様外 (S)

センサ圧カレンジ動作
**ナビゲーション**

診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → センサ圧カレンジ動作

説明

イベント動作の選択

「アラーム」:

電流出力は設定されたアラーム電流を出力します。

「警告」:

電流出力は変わりません。メッセージがデジタル表示されます (工場設定)。

「ログブック入力のみ」

メッセージのデジタルまたはアナログ転送はありません。

「特別」:

- センサ下限を下回る: 電流出力 < 3.6 mA。

- センサ上限を超過: 電流出力 21~23 mA、設定に応じて異なる。

設定に関わらず、ディスプレイにメッセージが表示されます。再び許容条件に達すると、警告メッセージは消えます。

選択

- アラーム
- 警告
- ログブック入力のみ
- Special

工場出荷時設定

警告

841 イベントカテゴリ
**ナビゲーション**

診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 841 イベントカテゴリ

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定

仕様外 (S)

900 診断動作
**ナビゲーション**

診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 900 診断動作

説明

イベントの動作を選択

「ログブック記入のみ」:



メッセージのデジタルまたはデジタル送信なし

「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定 警告

900 イベントカテゴリ ナビゲーション   診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 900 イベントカテゴリ

説明 診断メッセージのカテゴリを選択します。

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 メンテナンスが必要 (M)

906 診断動作 ナビゲーション   診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 906 診断動作

説明

イベントの動作を選択

「ログブック記入のみ」:
メッセージのデジタルまたはデジタル送信なし

「警告」: 現在の出力は変更なし。メッセージはデジタルで出力 (デフォルト)

選択

- オフ
- 警告
- ログブック入力のみ

工場出荷時設定 オフ

906 イベントカテゴリ ナビゲーション   診断 → 診断設定 → 設定 → プロセス → 906 イベントカテゴリ

説明 診断メッセージのカテゴリを選択します。

選択

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 影響なし (N)

工場出荷時設定 仕様外 (S)

3.3 アプリケーション

ナビゲーション   アプリケーション

3.3.1 測定値

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値

センサ圧力



ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → センサ圧力

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0 mbar



追加情報 **アクセス:**
 ■ 読み取りアクセス: エキスパート
 ■ 書き込みアクセス: -

圧力

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → 圧力

工場出荷時設定 0 mbar

スケーリングされた変数

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → スケーリングされた変数

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0 %



センサ温度

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → センサ温度

説明 センサの現在の温度を表示します。

ユーザーインターフェイス 符号を含む浮動小数点数



端子電圧 1

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → 端子電圧 1

説明 電流出力端子にかかっている現在の電圧を示します。

ユーザーインターフェイス 0.0~50.0 V

端子電流



ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → 端子電流

説明 現在測定されている電流出力の現在の値を示します。

ユーザーインターフェイス 0~30 mA

工場出荷時設定 0 mA


電気部内温度

ナビゲーション   アプリケーション → 測定値 → 電気部内温度

説明 現在のメイン電子モジュール内の温度。



ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

3.3.2 測定単位

ナビゲーション  アプリケーション → 測定単位

圧力単位

ナビゲーション

  アプリケーション → 測定単位 → 圧力単位

選択


- MPa
- kPa
- Pa
- bar
- mbar
- torr
- atm
- psi
- kgf/cm²
- gf/cm²
- inH₂O
- inH₂O (4°C)
- mmH₂O
- mmH₂O (4°C)
- mH₂O
- mH₂O (4°C)
- ftH₂O
- inHg
- mmHg

工場出荷時設定

注文オプションに応じて異なります。

圧力小数点位置

ナビゲーション

 アプリケーション → 測定単位 → 圧力小数点位置

説明


この選択は、機器の計測や計算精度に影響を与えません

選択

- 自動
- X
- X.X
- X.XX
- X.XXX
- X.XXXX

工場出荷時設定

自動

温度の単位**ナビゲーション** アプリケーション → 測定単位 → 温度の単位**説明**

温度の単位を選択

選択

SI 単位

■ °C


■ K

US 単位

°F

工場出荷時設定

°C

スケーリングされた変数単位**ナビゲーション** アプリケーション → 測定単位 → スケーリング変数単位**説明**

目的の単位が選択リストにない場合は、「Free text(フリーテキスト)」を使用します。
別のパラメータで固有の単位を定義することが可能です。

選択	SI 単位	US 単位	ヤード・ポンド法 (帝国単位)
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ % ▪ mm ▪ cm ▪ m ▪ l ▪ hl ▪ m³ ▪ g ▪ kg ▪ t ▪ g/s ▪ kg/s ▪ kg/min ▪ kg/h ▪ t/min ▪ t/h ▪ t/d ▪ m³/s ▪ m³/min ▪ m³/h ▪ m³/d ▪ l/s ▪ l/min ▪ l/h ▪ Nm³/h ▪ Nl/h ▪ Sm³/s ▪ Sm³/min ▪ Sm³/h ▪ Sm³/d ▪ Nm³/s ▪ g/cm³ ▪ kg/m³ ▪ Nm³/min ▪ Nm³/d 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ft ▪ in ▪ ft³ ▪ gal (us) ▪ bbl (us;oil) ▪ oz ▪ lb ▪ STon ▪ lb/s ▪ lb/min ▪ lb/h ▪ STon/min ▪ STon/h ▪ STon/d ▪ ft³/s ▪ ft³/min ▪ ft³/h ▪ ft³/d ▪ gal/s (us) ▪ gal/min (us) ▪ gal/h (us) ▪ gal/d (us) ▪ bbl/s (us;oil) ▪ bbl/min (us;oil) ▪ bbl/h (us;oil) ▪ bbl/d (us;oil) ▪ Sft³/min ▪ Sft³/h ▪ Sft³/d 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ gal (imp) ▪ gal/s (imp) ▪ gal/min (imp) ▪ gal/h (imp)
	ユーザー単位 Free text		
工場出荷時設定	%		

フリーテキスト



ナビゲーション

アプリケーション → 測定単位 → フリーテキスト

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)

工場出荷時設定

Free text

小数点以下のスケール変数


ナビゲーション	アプリケーション → 測定単位 → 小数スケール変数
説明	この選択は、機器の測定および計算精度に影響を与えません。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ X ■ X.X ■ X.XX ■ X.XXX ■ X.XXXX
工場出荷時設定	X.XX

3.3.3 センサ

ナビゲーション アプリケーション → センサ

センサー校正

ナビゲーション アプリケーション → センサ → センサー校正

ゼロ点調整




ナビゲーション	アプリケーション → センサ → センサー校正 → ゼロ点調整
説明	伝送器の取付位置により圧力シフトが生じる可能性があります。圧力シフトはゼロ点調整で補正できます。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ いいえ ■ 確認
工場出荷時設定	いいえ

校正オフセット



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → センサー校正 → 校正オフセット
説明	測定値を補正する値（例：絶対圧センサの位置調整）を入力します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

追加情報 パラメータは絶対圧センサでのみ使用できます。


ゼロ点調整オフセット

ナビゲーション	  アプリケーション → センサ → センサー校正 → ゼロ点調整オフセット
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

センサトリム リセット

ナビゲーション	 アプリケーション → センサ → センサー校正 → センサトリム リセット
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ いいえ ■ 確認
工場出荷時設定	いいえ

下限センサトリム


ナビゲーション  アプリケーション → センサ → センサー校正 → 下限センサトリム

説明 下限センサトリムおよび上限センサトリムパラメータを使用すると、たとえば、センサを測定範囲に合わせて正確に校正する必要がある場合などに、センサを再校正することが可能です。センサの最高測定精度は、下限センサトリムパラメータの値が測定範囲の下限に、上限センサトリムパラメータの値が測定範囲の上限に、それぞれ可能な限り近い場合に達成されます。

センサの新しい上限/下限特性曲線を設定する場合は、既知の基準圧力が必要です。

センサ校正に使用される基準機器の精度が高いほど、後ほど圧力伝送器の測定精度は高くなります。

下限センサトリムおよび上限センサトリムパラメータを使用して、印加圧力に新しい値が割り当てられます。

 入力値は、**センサ圧力**の許容最大圧力（URL）の +/- 10% を超えてはなりません。

以下のように入力します。

- 下限測定範囲に基準圧力を適用します。
- 下限センサトリムフィールドに基準圧力を入力し、確定します。
- 上限測定範囲に基準圧力を適用します。
- 上限センサトリムフィールドに基準圧力を入力し、確定します。
- これでセンサ校正は完了です。

ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

 上限センサトリム



ナビゲーション

☐ アプリケーション → センサ → センサー校正 → 上限センサトリム

説明

下限センサトリムおよび上限センサトリムパラメータを使用すると、たとえば、センサを測定範囲に合わせて正確に校正する必要がある場合などに、センサを再校正することが可能です。センサの最高測定精度は、下限センサトリムパラメータの値が測定範囲の下限に、上限センサトリムパラメータの値が測定範囲の上限に、それぞれ可能な限り近い場合に達成されます。

センサの新しい上限/下限特性曲線を設定する場合は、既知の基準圧力が必要です。

センサ校正に使用される基準機器の精度が高いほど、後ほど圧力伝送器の測定精度は高くなります。

下限センサトリムおよび上限センサトリムパラメータを使用して、印加圧力に新しい値が割り当てられます。

i 入力値は、**センサ圧力**の許容最大圧力 (URL) の +/- 10% を超えてはなりません。

以下のように入力します。

- 下限測定範囲に基準圧力を適用します。
- 下限センサトリムフィールドに基準圧力を入力し、確定します。
- 上限測定範囲に基準圧力を適用します。
- 上限センサトリムフィールドに基準圧力を入力し、確定します。
- これでセンサ校正は完了です。

ユーザー入力

符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定

500 mbar

 基本設定

ナビゲーション ☐ アプリケーション → センサ → 基本設定

 出力電流 転送機能

ナビゲーション

☐☐ アプリケーション → センサ → 基本設定 → 出力電流 転送機能

説明

圧力リニア信号が、電流出力に使用されます。評価ユニットで流量を計算する必要があります。

ユーザーインターフェイス

リニア

工場出荷時設定

リニア

ダンピング



ナビゲーション

アプリケーション → センサ → 基本設定 → ダンピング

説明

ダンピングは、測定値がさらに処理される前、すなわち、以下の処理の前に有効です。

- スケーリング
- リミット値モニタリング
- ディスプレイへの転送
- アナログ入力ブロックへの転送

注

アナログ入力ブロックは、独自の「ダンピング」パラメータがあります。測定チェーンでは、2つのダンピングパラメータのうち、1つは0以外の値にする必要があります。そうしないと、信号が複数回ダンピングします。

ユーザー入力

0～999.0 秒

工場出荷時設定

1 秒

センサリミット

ナビゲーション アプリケーション → センサ → センサリミット

LRL(下限)

ナビゲーション

アプリケーション → センサ → センサリミット → LRL(下限)

説明

センサ測定下限を表示

ユーザーインターフェイス

符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定

注文オプションに応じて異なります。

URL(上限)

ナビゲーション

アプリケーション → センサ → センサリミット → URL(上限)

説明

センサ測定上限を表示


ユーザーインターフェイス

符号付き浮動小数点数


工場出荷時設定

注文オプションに応じて異なります。


最小スパン

ナビゲーション	 アプリケーション → センサ → センサ リミット → 最小スパン
説明	センサ最小スパンを指定
ユーザーインターフェイス	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0.498504 mbar



センサ温度下限リミット

ナビゲーション	 アプリケーション → センサ → センサ リミット → センサ温度下限リミット
工場出荷時設定	-35 °C

センサ温度上限リミット



ナビゲーション	 アプリケーション → センサ → センサ リミット → センサ温度上限リミット
工場出荷時設定	85 °C

スケーリングされた変数

ナビゲーション   アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数

PV 割当



ナビゲーション	  アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → PV 割当
説明	この機能を使用して、一次動的変数 (PV 値) の測定変数 (HART 機器変数) を選択します。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ 圧力 ■ スケーリングされた変数
工場出荷時設定	圧力

スケーリングされた変数単位



ナビゲーション

アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → スケーリング変数単位

説明

目的の単位が選択リストにない場合は、「Free text(フリーテキスト)」を使用します。別のパラメータで固有の単位を定義することが可能です。

選択

SI 単位

- %
- mm
- cm
- m
- l
- hl
- m³
- g
- kg
- t
- g/s
- kg/s
- kg/min
- kg/h
- t/min
- t/h
- t/d
- m³/s
- m³/min
- m³/h
- m³/d
- l/s
- l/min
- l/h
- Nm³/h
- NI/h
- Sm³/s
- Sm³/min
- Sm³/h
- Sm³/d
- Nm³/s
- g/cm³
- kg/m³
- Nm³/min
- Nm³/d

ユーザー単位

Free text

US 単位

- ft
- in
- ft³
- gal (us)
- bbl (us;oil)
- oz
- lb
- STon
- lb/s
- lb/min
- lb/h
- STon/min
- STon/h
- STon/d
- ft³/s
- ft³/min
- ft³/h
- ft³/d
- gal/s (us)
- gal/min (us)
- gal/h (us)
- gal/d (us)
- bbl/s (us;oil)
- bbl/min (us;oil)
- bbl/h (us;oil)
- bbl/d (us;oil)
- Sft³/min
- Sft³/h
- Sft³/d

ヤード・ポンド法 (帝国単位)

- gal (imp)
- gal/s (imp)
- gal/min (imp)
- gal/h (imp)

工場出荷時設定

%

フリーテキスト 🔒

ナビゲーション	🔍📄 アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → フリーテキスト
ユーザー入力	数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)
工場出荷時設定	Free text

圧力

ナビゲーション	🔍📄 アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → 圧力
工場出荷時設定	0 mbar

スケーリングされた変数転送機能 🔒

ナビゲーション	🔍📄 アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → スケーリング変数転送
説明	<p>「リニア」: 出力には、リニア圧力信号が使用されます。評価ユニットで流量を計算する必要があります。</p> <p>「テーブル」: 出力は、入力されたテーブル、スケーリングされた変数/圧力によって規定されます。</p>
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ リニア ■ テーブル
工場出荷時設定	リニア

下限値出力 🔒

ナビゲーション	🔍📄 アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → 下限値出力
説明	どの変数を「プロセス変数出力値」として選択したかに応じて、関連するレンジの下限値 (4 mA) と上限値 (20 mA) を設定します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

上限値出力


ナビゲーション	アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → 上限値出力
説明	どの変数を「プロセス変数出力値」として選択したかに応じて、関連するレンジの下限値 (4 mA) と上限値 (20 mA) を設定します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	50 000 mbar

圧力値 1


ナビゲーション	アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → 圧力値 1
説明	ゼロが確認されると、加えられた圧力がフィールド「圧力値 1」に転送され、4mA に設定されます。「圧力値 1」は、スケーリングされた変数値 1 に割り当てられます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

スケーリングされた変数 1

ナビゲーション	アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → スケーリング変数 1
説明	圧力値 1 をスケール変数 1 に割当
ユーザーインターフェイス	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 %

圧力値 2


ナビゲーション	アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → 圧力値 2
説明	スパンが確認されると、加えられた圧力がフィールド「圧力値 2」に転送され、20mA に設定されます。「圧力値 2」は、スケーリングされた変数値 2 に割り当てられます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	500 mbar

スケーリングされた変数 2



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → スケーリングされた変数 → スケーリング変数 2
説明	圧力値 2 をスケール変数 2 に割当
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	100 %

ウェット キャリブレーション

ナビゲーション アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション

ゼロ



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → ゼロ
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ いいえ ■ 確認
工場出荷時設定	いいえ

圧力値 1



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → 圧力値 1
説明	ゼロが確認されると、加えられた圧力がフィールド「圧力値 1」に転送され、4mA に設定されます。「圧力値 1」は、スケーリングされた変数値 1 に割り当てられます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

スパン



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → スパン
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ いいえ ■ 確認
工場出荷時設定	いいえ

圧力値 2



ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → 圧力値 2
説明	スパンが確認されると、加えられた圧力がフィールド「圧力値 2」に転送され、20mA に設定されます。「圧力値 2」は、スケーリングされた変数値 2 に割り当てられます。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	500 mbar

下限値出力




ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → 下限値出力
説明	どの変数を「プロセス変数出力値」として選択したかに応じて、関連するレンジの下限値 (4 mA) と上限値 (20 mA) を設定します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

上限値出力




ナビゲーション	アプリケーション → センサ → ウェット キャリブレーション → 上限値出力
説明	どの変数を「プロセス変数出力値」として選択したかに応じて、関連するレンジの下限値 (4 mA) と上限値 (20 mA) を設定します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	50 000 mbar

3.3.4 電流出力

ナビゲーション  アプリケーション → 電流出力

PV 割当

ナビゲーション

 アプリケーション → 電流出力 → PV 割当

説明

測定変数を 1 次変数 (PV) に割り当てます。この値は、HART インターフェースを介してのみ出力できます。

スケーリングされた変数：

流量またはレベルアプリケーションでは、スケーリングされた変数を圧力値に割り当てることができます。

選択


- 圧力
- スケーリングされた変数

工場出荷時設定

圧力

測定モード電流出力

ナビゲーション

 アプリケーション → 電流出力 → 測定モード電流出力

説明

現在の出力曲線を選択

選択

- 標準
- 逆
- 双方向

工場出荷時設定

標準

出力の現在の範囲

ナビゲーション

 アプリケーション → 電流出力 → 出力の現在の範囲

説明

「4...20mA」：

測定変数：4~20mA

「4...20mA NAMUR」：

測定変数：3.8~20.5 mA

「4...20mA US」：

測定変数：3.9~20.8 mA

「固定電流値」：

測定変数は HART を通してのみ伝送されます。



注意：

3.6mA 未満もしくは 21.5mA を超える電流値はアラーム信号として使用されます。

- 選択**
- 4...20 mA (4...20.5 mA)
 - 4...20 mA NE (3.8...20.5 mA)
 - 4...20 mA US (3.9...20.8 mA)

工場出荷時設定 4...20 mA NE (3.8...20.5 mA)

下限値出力

ナビゲーション   アプリケーション → 電流出力 → 下限値出力

説明 プロセス変数出力値として選択した変数に応じて、関連する測定範囲の開始値を指定します (4 mA)。

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 機器設定に応じて異なります。

上限値出力



ナビゲーション   アプリケーション → 電流出力 → 上限値出力

説明 プロセス変数出力値として選択した変数に応じて、関連する測定範囲の終了値を指定します (20 mA)。

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 機器設定に応じて異なります。

電流出力 故障動作

ナビゲーション   アプリケーション → 電流出力 → 電流出力 故障動作

説明 エラー発生時に出力する電流を設定します。

最小 : < 3.6 mA

最大 : > 21.5 mA

注意 : アラーム電流のハードウェア DIP スイッチは、ソフトウェア設定よりも優先されます。

- 選択**
- 最少
 - 最大

工場出荷時設定 最少

故障時の電流値



ナビゲーション	☒ アプリケーション → 電流出力 → 故障時の電流値
説明	アラーム状態の電流出力値を設定。 フェールセーフモード 電流出力 = 最大に適用
ユーザー入力	21.5～23 mA
工場出荷時設定	22.5 mA

出力電流

ナビゲーション	☒☒ アプリケーション → 電流出力 → 出力電流
説明	電流出力の実際の計算値を示す
ユーザーインターフェイス	3.59～23 mA

端子電流

ナビゲーション	☒☒ アプリケーション → 電流出力 → 端子電流
説明	現在測定されている電流出力の現在の値を示します。
ユーザーインターフェイス	3.6～23 mA
工場出荷時設定	0 mA

4mA トリム値



ナビゲーション	☒ アプリケーション → 電流出力 → 4mA トリム値
説明	4 mA 電流出力のトリム値を入力します。 注意： シミュレーションが有効でなければなりません。
ユーザー入力	3～5 mA
工場出荷時設定	4 mA

追加情報**アクセス :**

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : エキスパート

20mA トリム値**ナビゲーション**

アプリケーション → 電流出力 → 20mA トリム値

説明

20mA 電流出力のトリム値を入力します。

注意 :

シミュレーションが有効でなければなりません。

ユーザー入力

18~22 mA

工場出荷時設定

20 mA

追加情報**アクセス :**

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : エキスパート

3.3.5 HART 出力

ナビゲーション アプリケーション → HART 出力

設定

ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → 設定

HART アドレス**ナビゲーション**

アプリケーション → HART 出力 → 設定 → HART アドレス

説明

HART プロトコルを介してデータを交換するためのアドレスを入力します。

ユーザー入力

0~63


工場出荷時設定

0

HART ショートタグ



ナビゲーション

  アプリケーション → HART 出力 → 設定 → HART ショートタグ

説明

測定ポイントのショートタグを定義します。

最大文字数：8 文字

使用できる文字：A-Z、0-9、特定の特殊文字

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (8)

工場出荷時設定

SHORTTAG

デバイスのタグ



ナビゲーション

  アプリケーション → HART 出力 → 設定 → デバイスのタグ

説明

プラント内で迅速に機器を識別するために、測定ポイント固有の名前を入力して下さい。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)

工場出荷時設定

カスタマイズ済み

プリアンブル数



ナビゲーション

  アプリケーション → HART 出力 → 設定 → プリアンブル数

説明

HART 通信のプリアンブル数を定義します

ユーザー入力

5~20

工場出荷時設定

5

ループ電流モード



ナビゲーション

  アプリケーション → HART 出力 → 設定 → ループ電流モード

説明

ループ電流モードが無効となっている場合、マルチドロップ通信モードが有効化されません。マルチドロップは複数の機器が電源と通信用の電線を共有している可能性がある場合の HART デジタル通信モードです。


このモードの場合、出力電流は固定されます。

選択

- 無効
- 有効


工場出荷時設定 有効

HART 出力

ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力

PV 割当



ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → PV 割当

説明 測定変数を 1 次変数 (PV) に割り当てます。この値は、HART インターフェースを介してのみ出力できます。


スケーリングされた変数：
流量またはレベルアプリケーションでは、スケーリングされた変数を圧力値に割り当てる
ことができます。

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数

工場出荷時設定 圧力

プライマリ変数 (PV)

ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → プライマリ変数 (PV)


説明 現在測定されているプライマリ変数 (PV 値) を示す

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0 mbar

SV 割当



ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → SV 割当

説明 測定変数を 2 次動の変数(SV)へ割り当てます。


選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度

- 端子電流*
- 端子電圧*
- 圧力信号の中央値*
- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- ループ電流
- 未使用

工場出荷時設定 センサ温度

セカンダリ変数 (SV 値)



ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → セカンダリ変数 (SV 値)

説明 現在測定されているセカンダリ変数 (SV 値) を示す

ユーザーインターフェイス 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 0°C

TV 割当

ナビゲーション   アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → TV 割当

説明 測定変数を 3 次動の変数(TV)へ割り当てます。


選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 端子電流*
- 端子電圧*
- 圧力信号の中央値*
- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- ループ電流
- 未使用

工場出荷時設定 電気部内温度



* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

ターシェリ変数 (TV 値)


ナビゲーション	 アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → ターシェリ変数 (TV 値)
説明	現在測定されているターシェリ変数 (TV 値) を示す
ユーザーインターフェイス	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 °C

QV 割当





ナビゲーション	  アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → QV 割当
説明	測定変数を 4 次動変数(QV)へ割り当てます。
選択	<ul style="list-style-type: none"> ■ 圧力 ■ スケーリングされた変数 ■ センサ温度 ■ センサ圧力 ■ 電気部内温度 ■ 端子電流[*] ■ 端子電圧[*] ■ 圧力信号の中央値[*] ■ 圧力信号のノイズ[*] ■ 信号ノイズ検出[*] ■ レンジのパーセント ■ ループ電流 ■ 未使用
工場出荷時設定	センサ圧力

クォータリ変数 (QV)

ナビゲーション	 アプリケーション → HART 出力 → HART 出力 → クォータリ変数 (QV)
説明	現在測定されているクォータリ変数 (QV 値) を示す
ユーザーインターフェイス	符号付き浮動小数点数
工場出荷時設定	0 mbar

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

バースト設定 1



ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1バーストモード ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バーストモード 1

説明 HART バーストモードをバーストメッセージでオンにする

選択

- オフ
- オン

工場出荷時設定 オフ



バーストコマンド ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バーストコマンド 1

説明 HART マスターへ送られる HART コマンドの選択

選択

- プライマリ変数 (PV)
- ループ電流と%レンジ
- 動的変数
- ステータス付機器変数
- 機器変数
- 追加機器ステータス

工場出荷時設定 ループ電流と%レンジ

バースト変数 0 ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 0

説明 HART コマンド 9,33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 測定した電流*
- 端子電圧 1*
- 圧力信号の中央値*

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- 測定した電流
- プライマリ変数 (PV)
- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

工場出荷時設定

圧力

バースト変数 1



ナビゲーション

☐ アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 1

説明

HART コマンド 9,33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 測定した電流*
- 端子電圧 1*
- 圧力信号の中央値*
- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- 測定した電流
- プライマリ変数 (PV)
- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

工場出荷時設定

スケーリングされた変数

バースト変数 2



ナビゲーション

☐ アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 2

説明

HART コマンド 9,33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

- 選択**
- 圧力
 - スケーリングされた変数
 - センサ温度
 - センサ圧力
 - 電気部内温度
 - 測定した電流^{*}
 - 端子電圧 1^{*}
 - 圧力信号の中央値^{*}
 - 圧力信号のノイズ^{*}
 - 信号ノイズ検出^{*}
 - レンジのパーセント
 - 測定した電流
 - プライマリ変数 (PV)
 - セカンダリ変数 (SV 値)
 - ターシェリ変数 (TV 値)
 - クォータリ変数 (QV)
 - 未使用

工場出荷時設定 センサ温度

バースト変数 3



ナビゲーション

☐ アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 3

説明

HART コマンド 9,33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 測定した電流^{*}
- 端子電圧 1^{*}
- 圧力信号の中央値^{*}
- 圧力信号のノイズ^{*}
- 信号ノイズ検出^{*}
- レンジのパーセント
- 測定した電流
- プライマリ変数 (PV)
- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

工場出荷時設定

センサ圧力

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

バースト変数 4



ナビゲーション

アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 4

説明

HART コマンド 33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 測定した電流*
- 端子電圧 1*
- 圧力信号の中央値*
- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- 測定した電流
- プライマリ変数 (PV)
- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

工場出荷時設定

レンジのパーセント

バースト変数 5



ナビゲーション

アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 5

説明

HART コマンド 33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- センサ温度
- センサ圧力
- 電気部内温度
- 測定した電流*
- 端子電圧 1*
- 圧力信号の中央値*
- 圧力信号のノイズ*
- 信号ノイズ検出*
- レンジのパーセント
- 測定した電流
- プライマリ変数 (PV)
- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

工場出荷時設定 測定した電流

バースト変数 6



ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 6

説明 HART コマンド 33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる

- 選択
- 圧力
 - スケーリングされた変数
 - センサ温度
 - センサ圧力
 - 電気部内温度
 - 測定した電流*
 - 端子電圧 1*
 - 圧力信号の中央値*
 - 圧力信号のノイズ*
 - 信号ノイズ検出*
 - レンジのパーセント
 - 測定した電流
 - プライマリ変数 (PV)
 - セカンダリ変数 (SV 値)
 - ターシェリ変数 (TV 値)
 - クォータリ変数 (QV)
 - 未使用

工場出荷時設定 未使用

バースト変数 7



ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バースト変数 7

説明 HART コマンド 33 のために HART 機器変数またはプロセス変数をバースト変数に割り当てる


- 選択
- 圧力
 - スケーリングされた変数
 - センサ温度
 - センサ圧力
 - 電気部内温度
 - 測定した電流*
 - 端子電圧 1*
 - 圧力信号の中央値*
 - 圧力信号のノイズ*
 - 信号ノイズ検出*
 - レンジのパーセント
 - 測定した電流
 - プライマリ変数 (PV)

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

- セカンダリ変数 (SV 値)
- ターシェリ変数 (TV 値)
- クォータリ変数 (QV)
- 未使用

工場出荷時設定 未使用

バーストリガーモード

ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バーストリガーモード


説明 バーストメッセージをトリガするイベントの選択

選択

- Continuos
- Window*
- Rising*
- Falling*
- On change

工場出荷時設定 Continuos

バーストリガーレベル


ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → バーストリガーレベル

説明 バーストリガーモード'パラメータで選択したオプションとともにバーストメッセージの時間を決めるバーストリガの値を入力

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

工場出荷時設定 2.0E-38

Min. update period

ナビゲーション  アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → Min. upd peri

説明 1 つのバーストメッセージに対する 2 つのバーストレスポンス間の最小時間を入力

ユーザー入力 正の整数

工場出荷時設定 1000 ms

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

Max. update period



ナビゲーション	アプリケーション → HART 出力 → バースト設定 1 → Max. upd peri
説明	1つのバーストメッセージに対する2つのバーストレスポンス間の最大時間を入力
ユーザー入力	正の整数
工場出荷時設定	2 000 ms

情報

ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → 情報

機器 ID

ナビゲーション	アプリケーション → HART 出力 → 情報 → 機器 ID
説明	HART ネットワーク内で機器を認識するために機器 ID を表示します。
ユーザーインターフェイス	正の整数
工場出荷時設定	123456

機器タイプ

ナビゲーション	アプリケーション → HART 出力 → 情報 → 機器タイプ
説明	HART FieldComm Group に登録されている機器の機器タイプを表示します。
ユーザーインターフェイス	0~65 535
工場出荷時設定	4 394

機器リビジョン

ナビゲーション	アプリケーション → HART 出力 → 情報 → 機器リビジョン
説明	HART FieldComm Group に登録されている機器の機器リビジョンを表示します。

ユーザーインターフェイス 0~255

工場出荷時設定 2

HART ショートタグ



ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → 情報 → HART ショートタグ

説明 測定ポイントのショートタグを定義します。
最大文字数：8 文字
使用できる文字：A-Z、0-9、特定の特殊文字

ユーザー入力 数字、英字、特殊文字からなる文字列 (8)

工場出荷時設定 SHORTTAG

HART リビジョン

ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → 情報 → HART リビジョン

説明 機器の HART プロトコルのリビジョンを表示します。

ユーザーインターフェイス 5~7

工場出荷時設定 7

HART 記述子



ナビゲーション アプリケーション → HART 出力 → 情報 → HART 記述子

説明 この機能で測定ポイントの説明を定義します。
最大文字数: 16 文字
使用できる文字: A-Z、0-9、特定の特殊文字

ユーザー入力 数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

工場出荷時設定 5xB/7xB

HART メッセージ**ナビゲーション**

☰☰ アプリケーション → HART 出力 → 情報 → HART メッセージ

説明

この機能でマスターから要求されたときに HART プロトコルで送信される HART メッセージを定義します。

最大文字数: 32 文字

使用できる文字: A-Z、0-9、特定の特殊文字

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)

工場出荷時設定

5xB/7xB

HART 日付コード**ナビゲーション**

☰☰ アプリケーション → HART 出力 → 情報 → HART 日付コード

説明

最後に設定変更した日付を入力して下さい。yyyy-mm-dd という形式で入力して下さい。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (10)

工場出荷時設定

2009-07-20

3.4 システム

ナビゲーション  システム


3.4.1 機器管理

ナビゲーション  システム → 機器管理

デバイスのタグ



ナビゲーション

 システム → 機器管理 → デバイスのタグ

説明

プラント内で迅速に機器を識別するために、測定ポイント固有の名前を入力して下さい。

ユーザー入力


数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)

工場出荷時設定

5xB/7xB

ロック状態

ナビゲーション

 システム → 機器管理 → ロック状態

説明

ロックのタイプを示します。

「ハードウェアロック」(HW)

機器は、メイン電子モジュールの「WP」スイッチでロックされます。ロックを解除するには、スイッチを「OFF」に設定します。

「安全ロック」(SW)

「安全ロック解除コードを入力してください」に適切なアクセスコードを入力して、機器のロックを解除します。


「一時的ロック」(SW)

機器は、機器内のプロセス（例：データアップロード/ダウンロード、リセット）によって一時的にロックされます。これらのプロセスが完了すると、機器のロックが自動的に解除されます。

ユーザーインターフェイス

- ハードウェアロック
- 安全ロック
- 一時ロック

設定カウンタ

ナビゲーション
 システム → 機器管理 → 設定カウンタ
説明

デバイスパラメーターの変更カウンターを表示

追加情報

-パラメーターを最適化するために静的パラメーターを変更した場合、カウンターの値が1増加する。パラメーターの変更履歴を追う目的。

-FC など外部ソースからデバイスの中にパラメーターを読み込むなど複数のパラメーターが同時に変更する場合、カウンターが大きい数字を表示する可能性があります。カウンターの数値はリセット、及びデフォルト値へは戻りません。

-カウンターの値が65535に到達すると0に戻ります。


ユーザーインターフェイス

0~65535

工場出荷時設定

0

機器リセット

**ナビゲーション**
 システム → 機器管理 → 機器リセット
説明

機器の設定をリセットします-全部または一部を-決められた状態に

選択


- キャンセル
- 工場出荷設定に*
- 納入時の状態に*
- 機器の再起動

工場出荷時設定


キャンセル

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります


3.4.2 ユーザー管理

ナビゲーション  システム → ユーザー管理


ユーザー管理

ナビゲーション  システム → ユーザー管理 → ユーザー管理


ユーザーの役割

ナビゲーション	 システム → ユーザー管理 → ユーザー管理 → ユーザーの役割
説明	操作ツールを介したパラメータへのアクセス権限を示します
ユーザーインターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ オペレータ ■ メンテナンス ■ エキスパート ■ 製造 ■ 開発
工場出荷時設定	メンテナンス


Delete password

ナビゲーション	 システム → ユーザー管理 → ユーザー管理 → Delete password
説明	<p>Deletes the 'Maintenance' password.</p> <p>After deleting, the 'Operator' role will be no more available.</p> <p>All users have read/write access rights.</p>
ユーザー入力	数字、英字、特殊文字からなる文字列 (1)

Forgot password?


ナビゲーション	 システム → ユーザー管理 → ユーザー管理 → Forgot password?
ユーザー入力	数字、英字、特殊文字からなる文字列 (1)

パスワードを入力してください

ナビゲーション  システム → ユーザー管理 → パスワードを入力

パスワード

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを入力 → パスワード

説明

「メンテナンス」ユーザーのための機能にアクセスするためにパスワードを入力してください。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

アクセスコード入力 

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを入力 → アクセスコード入力

説明

認定サービス担当者のみ

ユーザー入力


0~9999

工場出荷時設定

0

ステータスパスワード入力

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを入力 → ステータスパスワード入力



説明

パスワード検証のステータスを表示するためにこの機能を使用してください。



ユーザーインターフェイス

- -----
- パスワードが違います
- パスワード規則に違反
- パスワードを認証しました
- アクセス許可は拒否されました
- パスワードの不一致を確認
- パスワードリセットを受け付けました
- 無効なユーザーロール
- 誤った入力シーケンス

工場出荷時設定

パスワードを設定してくださいナビゲーション  システム → ユーザー管理 → パスワードを設定**新しいパスワード** **ナビゲーション**  システム → ユーザー管理 → パスワードを設定 → 新しいパスワード

説明 新しい"メンテナンス"のパスワードを定義してください。
 新しいパスワードは、"新しいパスワードを確認"のパラメータの範囲内で確認された後に、有効になります。
 有効なパスワードは 4~16 文字で構成され、文字と数字を含めることができます。


ユーザー入力 数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)**新しいパスワードを確認** **ナビゲーション**  システム → ユーザー管理 → パスワードを設定 → 新しいパスワードを確認**説明** 確認のために新しいパスワードを再度入力してください。**ユーザー入力** 数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)**ステータスパスワード入力****ナビゲーション**  システム → ユーザー管理 → パスワードを設定 → ステータスパスワード入力**説明** パスワード検証のステータスを表示するためにこの機能を使用してください。

ユーザーインターフェイス

- -----
- パスワードが違います
- パスワード規則に違反
- パスワードを認証しました
- アクセス許可は拒否されました
- パスワードの不一致を確認
- パスワードリセットを受け付けました
- 無効なユーザーロール
- 誤った入力シーケンス


工場出荷時設定 -----

パスワードを変更

ナビゲーション  システム → ユーザー管理 → パスワードを変更

古いパスワード

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを変更 → 古いパスワード

説明

既存のパスワードを変更するために、現在のパスワードを入力してください。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

新しいパスワード

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを変更 → 新しいパスワード

説明


新しい"メンテナンス"のパスワードを定義してください。
新しいパスワードは、"新しいパスワードを確認"のパラメータの範囲内で確認された後に、有効になります。
有効なパスワードは 4~16 文字で構成され、文字と数字を含めることができます。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

新しいパスワードを確認

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを変更 → 新しいパスワードを確認

説明


確認のために新しいパスワードを再度入力してください。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

ステータスパスワード入力

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを変更 → ステータスパスワード入力

説明

パスワード検証のステータスを表示するためにこの機能を使用してください。


ユーザーインターフェイス

- -----
- パスワードが違います
- パスワード規則に違反
- パスワードを認証しました
- アクセス許可は拒否されました
- パスワードの不一致を確認

- パスワードリセットを受け付けました
- 無効なユーザーロール
- 誤った入力シーケンス


工場出荷時設定

パスワードを回復

ナビゲーション  システム → ユーザー管理 → パスワードを回復

パスワードリセット

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを回復 → パスワードリセット

説明


現在の「メンテナンス」パスワードをリセットするコードを入力します。
コードは現地サポートから提供されます。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (16)

ステータスパスワード入力

ナビゲーション

 システム → ユーザー管理 → パスワードを回復 → ステータスパスワード入力

説明


パスワード検証のステータスを表示するためにこの機能を使用してください。

ユーザーインターフェイス

- -----
- パスワードが違います
- パスワード規則に違反
- パスワードを認証しました
- アクセス許可は拒否されました
- パスワードの不一致を確認
- パスワードリセットを受け付けました
- 無効なユーザーロール
- 誤った入力シーケンス


工場出荷時設定

3.4.3 Bluetooth 設定

ナビゲーション  システム → Bluetooth 設定

Bluetooth 有効化

ナビゲーション

 システム → Bluetooth 設定 → Bluetooth 有効化

説明

Bluetooth が無効な場合、ディスプレイまたは操作ツールを介してのみ Bluetooth を再度有効にすることが可能です。SmartBlue アプリを介して再度有効にすることはできません。

選択

- 無効
- 有効

工場出荷時設定


注文オプションに応じて異なります。

3.4.4 表示

ナビゲーション  システム → 表示

Language

ナビゲーション

 システム → 表示 → Language

必須条件

現場表示器があること。

説明



この機能を使用して、設定された言語を現場表示器で選択します。

選択

- English
- Deutsch
- Français
- Español
- Italiano
- Nederlands
- Portuguesa
- Polski
- русский язык (Russian)
- Svenska
- Türkçe
- 中文 (Chinese)
- 日本語 (Japanese)
- 한국어 (Korean)
- Bahasa Indonesia
- tiếng Việt (Vietnamese)
- čeština (Czech)

工場出荷時設定 English (または、注文した言語を機器に工場設定)

表示形式

ナビゲーション   システム → 表示 → 表示形式



説明 測定値のディスプレイへの表示方法を選択

選択

- 1つの値、最大サイズ
- 1つの値 + バーグラフ
- 2つの値

工場出荷時設定 1つの値、最大サイズ

1 の値表示

ナビゲーション   システム → 表示 → 1 の値表示


説明 ローカルディスプレイに表示する測定値を選択

選択

- 圧力
- スケーリングされた変数
- 電流出力
- センサ温度
- レンジのパーセント

工場出荷時設定 圧力

2 ... 4 の値表示

ナビゲーション  システム → 表示 → 2 ... 4 の値表示


説明 ローカルディスプレイに表示する測定値を選択

選択

- なし
- 圧力
- スケーリングされた変数
- 電流出力
- センサ温度
- レンジのパーセント

工場出荷時設定 なし


表示のコントラスト

ナビゲーション	 システム → 表示 → 表示のコントラスト
説明	周囲条件 (照明、読み取り角度など) に合わせてローカル ディスプレイのコントラスト設定を調整
ユーザー入力	20～80 %
工場出荷時設定	30 %


3.4.5 情報

ナビゲーション  システム → 情報

機器名

ナビゲーション	 システム → 情報 → 機器名
説明	この機能を使って機器名を表示します。機器名は銘版上でも確認できます。
ユーザーインターフェイス	数字、英字、特殊文字からなる文字列
工場出荷時設定	5xB/7xB

製造者

ナビゲーション	 システム → 情報 → 製造者
ユーザーインターフェイス	数字、英字、特殊文字からなる文字列
工場出荷時設定	Endress+Hauser

シリアル番号



ナビゲーション

システム → 情報 → シリアル番号

説明

シリアル番号は機器を識別するための個別の英数字コードです。銘板に印字されます。
Operations app を使用することで機器に関連するすべてのドキュメントにアクセスすることが出来ます。

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

オーダーコード



ナビゲーション

システム → 情報 → オーダーコード

説明

機器のオーダーコードの表示。

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

工場出荷時設定

- none -

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : オペレータ
- 書き込みアクセス : エキスパート

ファームウェアのバージョン

ナビゲーション

システム → 情報 → ファームウェアのバージョン

説明

インストールされている機器のファームウェアバージョンを表示

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

ハードウェアのバージョン

ナビゲーション

システム → 情報 → ハードウェアのバージョン

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

拡張オーダーコード 1 ... 3
**ナビゲーション**

システム → 情報 → 拡張オーダーコード 1

説明

拡張オーダーコードは機器とそのオプションを識別するためのすべての情報を含んだ英数字のコードです。

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報**アクセス :**

- 読み取りアクセス : オペレータ
- 書き込みアクセス : エキスパート

XML build number
ナビゲーション

システム → 情報 → XML build no.

ユーザーインターフェイス

正の整数

追加情報**アクセス :**

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

チェックサム
ナビゲーション

システム → 情報 → チェックサム

説明

ファームウェアバージョンのチェックサム

ユーザーインターフェイス

正の整数


3.4.6 追加情報

ナビゲーション  システム → 追加情報

センサ

ナビゲーション  システム → 追加情報 → センサ

シリアル番号


ナビゲーション  システム → 追加情報 → センサ → シリアル番号

説明 モジュールのシリアル番号表示

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報 **アクセス：**
 ■ 読み取りアクセス：エキスパート
 ■ 書き込みアクセス：-

ファームウェアのバージョン


ナビゲーション  システム → 追加情報 → センサ → ファームウェアのバージョン

説明 モジュールのファームウェアバージョンを表示します

ユーザーインターフェイス 正の整数

追加情報 **アクセス：**
 ■ 読み取りアクセス：エキスパート
 ■ 書き込みアクセス：-

ハードウェアのバージョン

ナビゲーション  システム → 追加情報 → センサ → ハードウェアのバージョン

説明 モジュールのハードウェアバージョンを表示します。

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

チェックサム

ナビゲーション

☐ システム → 追加情報 → センサ → チェックサム

説明

ファームウェアバージョンのチェックサム

ユーザーインターフェイス

正の整数

工場出荷時設定

0

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

エレクトロニクス

ナビゲーション ☐☐ システム → 追加情報 → エレクトロニクス

シリアル番号

ナビゲーション

☐ システム → 追加情報 → エレクトロニクス → シリアル番号

説明

モジュールのシリアル番号表示

ユーザーインターフェイス

数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ファームウェアのバージョン

ナビゲーション

☐ システム → 追加情報 → エレクトロニクス → ファームのバージョン

説明

モジュールのファームウェアバージョンを表示します


ユーザーインターフェイス 正の整数

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ソフトウェアのビルド番号

ナビゲーション  システム → 追加情報 → エレクトロニクス → ソフトウェアのビルド番号

説明 モジュールファームウェアのビルド番号表示


ユーザーインターフェイス 0~65535

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ハードウェアのバージョン

ナビゲーション  システム → 追加情報 → エレクトロニクス → ハードウェアのバージョン

説明 モジュールのハードウェアバージョンを表示します。



ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ディスプレイ / Bluetooth

ナビゲーション   システム → 追加情報 → ディスプレイ/Bluetooth

シリアル番号

ナビゲーション  システム → 追加情報 → ディスプレイ/Bluetooth → シリアル番号

説明 モジュールのシリアル番号表示

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ファームウェアのバージョン

ナビゲーション ☐ システム → 追加情報 → ディスプレイ/Bluetooth → ファームのバージョン

説明 モジュールのファームウェアバージョンを表示します

ユーザーインターフェイス 正の整数

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ソフトウェアのビルド番号

ナビゲーション ☐ システム → 追加情報 → ディスプレイ/Bluetooth → ソフトウェアのビルド番号

説明 モジュールファームウェアのビルド番号表示

ユーザーインターフェイス 0~65535

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

ハードウェアのバージョン

ナビゲーション ☐ システム → 追加情報 → ディスプレイ/Bluetooth → ハードウェアのバージョン

説明 モジュールのハードウェアバージョンを表示します。

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

追加情報

アクセス :

- 読み取りアクセス : エキスパート
- 書き込みアクセス : -

3.4.7 ソフトウェア設定

ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定


CRC デバイス設定

ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定 → CRC デバイス設定

説明 安全関連の現在の設定に基く CRC デバイス設定。
CRC デバイス設定は固有で安全関連パラメータの設定の変更を検出するために使用可能です。

ユーザーインターフェイス 0～65535

保存された CRC デバイス設定


ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定 → 保存された CRC 設定

説明 最後の SIL ロックの後で格納された CRC。工場出荷時は機器が SIL ロックを一度もされていないことを意味する 65535 です。

ユーザーインターフェイス 0～65535

工場出荷時設定 65535


タイムスタンプは CRC デバイス設定に保存されました

ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定 → タイムスタンプ CRC に保存

説明 SIL モードウィザードの完了後に CRC が最後に保存された時のタイムスタンプを示します。

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列


SW オプションの有効化

ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定 → SW オプションの有効化

説明 アプリケーションパッケージのコードまたは他の再オーダした機能のコードを、有効化するために入力してください。

ユーザー入力 正の整数

有効なソフトウェアオプションの概要

ナビゲーション  システム → ソフトウェア設定 → 有効な SW オプション

説明 全ての使用可能なソフトウェアオプションを示します。

ユーザーインターフェイス

- SIL
- WHG
- Heartbeat Verification
- Heartbeat Monitoring

工場出荷時設定 T_SILT_WHGT_HeartbeatVerificationT_HeartbeatMonitoring



71760976

www.addresses.endress.com
